



札私幼

発行

一般社団法人
札幌市私立幼稚園連合会
札幌市西区宮の沢1条1
札幌市生涯学習総合センター内
TEL011-671-3590
FAX011-671-3591
<http://www.s-youchien.or.jp/>
info@s-youchien.or.jp

平成25年度新規採用者研修宿泊研修特別号



平成25年7月29日～8月1日の3泊4日で、札幌市幼稚園新規採用教員研修宿泊研修が行われました。全力で頑張った一学期を無事に終えて、参加した先生は139名。夏季休業に入り一息つく間もなく、宿泊研修に突入です。園の業務とは一味違う緊張感の中、様々なことを学ぼうと一生懸命頑張る新採用の先生方の様子を、会員皆様にお伝えしたくこの度「臨

時号」の発行となりました。まず、この度の研修の運営者側の想いを札幌市私立幼稚園連合会研究委員長 藪 淳一先生にお聞きしました。

〈宿泊研修での学びについて感じ取って欲しいものは…〉

チームで仕事をするのが日々求められる中で、今回の研修を通して、仲間との集団行動によってチームワークの大切さや「コミュニケーションの大切さを感じ持ち帰ってほしいと考えています。個々のスキルアップはもちろんですが、朝起きてから夜寝るまで全てが研修だという気持ちで取組み、寝食を共に生活することから得られるものを十分に感じ取って欲しいですね。また、これを機会に同じ立場で頑張っている者同士が、仲良くなってもらうことにも大きな意味があると思います。一つの幼稚園から一人で来ている先生方もたくさんいるので、ここで出来た仲間を大切に、今後それぞれ園に戻った後も、互いの存在を励みにして欲しいと考えています。

〈研修内容、プログラムの組み方の考え方は…〉

内容・プログラムについては、文科省のガイドラインやモデルプランにあることを基盤に幼児教育センターの先生方と共に考えています。新採用の先生方を見守る側として、札幌幼研委員会として、一年目だからこそ！の学びが得られるように内容を吟味しています。今年度から、外部講師を少なくし札幌幼の研究委員で出来るだけ進められるようにしました。それは、ただの運営者としてだけではなく、積極的に自身に携わることで研究委員としての学びにもつなげていきたいと考えています。

〈最後に一言お願いします〉

今年の先生方は、全体的に落ち着いていて、まじめで一生懸命と感じています。各園の研修への送り出し方、養成校での指導の成果も

あるのではないでしょうか。皆様のご理解とご協力に感謝いたします。参加した先生達には、園に戻ったら、送りだしてくれた側に感謝すること、研修内容などをきちんと報告することを伝えたいと思います。そして、送り出す側の理事長先生や園長先生達にも研修内容などに、関心を持ってほしいと思います。どんなことをしてきたのか、学んだのか、をぜひ参加した先生方に聞いていただきたいと思います。今後とも会員皆様のご理解とご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。



1 日目	7/29	開講式	山の家へ 移動	入館式 係活動等	昼 食	① 2年目の 先生から	② 教師の心構え	野外炊飯 (カレーライス)
2 日目	7/30	③・対応のマナー ・コミュニケーションスキル			昼 食	④・身体表現を楽しむ ・身体を動かす遊び		
3 日目	7/31	⑤ 幼児期の自然体験 (講義)	⑤ 自然観察 (実習)		昼 食	⑥・自然との関わり ・クラフト活動	野外炊飯 (ジギスカ)	班交流
4 日目	8/1	⑦ 幼児の健康と安全 (講義・実習)			昼 食	研修の 振り返り	閉講式	ちえりあへ 移動 (バス)



☆ 一日目 ☆

△ドキドキワクワク△

宿泊研修スタート

新規採用教員研修「宿泊研修」一日目…。滝野の青少年山の家に入館し、仲間と四日間を過ごす宿泊室での荷物整理を終え、昼食をとってホッと一息ついているところをお邪魔して突撃インタビュー!! 宿泊研修が始まって数時間経った「今の心境」を率直に話してもらいました。

☆ 受講生の声 ☆

・ 野外炊飯でカレーライスやジンギスカンを作るのが楽しみ。
 ・ 三日目の班交流に向けて、これから話し合ったり、発表するものを作るのが楽しみ。
 ・ 四日間は長いけど、このメンバーなら乗り切れそう。
 ・ もう既に、楽しい!!
 楽しみにしていることや四日間に期待を持つ声が聞かれた一方、不安を口にする受講生もいました。
 ・ いろんなことがあるのか不安
 ・ 知らない人が多くて不安
 ・ 楽しみもあるが、三泊四日は長いので体力的に不安…など。
 しかし、思っていたよりも不安を感じている声は少なく、受講生の表情や話し方からは、何か楽しみを見出そうとする前向きな姿勢やプラス思考である印象を受けました。また、受講生全体の雰囲気も、緊張しているというよりはリラックスした雰囲気を感じました。

△隠し味は団結力?!

野外炊飯に挑戦!!

さて、昼食の後は二つの研修・講義を受け、夕方からは多くの受講生が楽しみにしていた「野外炊飯」の実習です。今日は、カレーライ

ス作りに挑戦!失敗してしまったり、時間内に作り終えられなければ、この日の夕食は無しになってしまうため、ここは班の団結力や協調性が求められます。研究委員長をはじめ、運営スタッフのねらいも、ここにあったようです。果たして、無事に全班が美味しいカレーライスを作れるのでしょうか…?

受講生の様子を見てみると、予想以上に火おこしやごはん炊き等が順調で、全班が時間内に完成させることが出来ました。元氣いっぱいの「いただきます!」の声から、満足感や達成感が感じられました。ここで、実際に作ってみての感想をインタビューすると…大変だったこと第一位は「火おこし」でしたが、インタビュに答えながら満面の笑みで美味しそうに食べる受講生の姿を見ると、そんな苦労も吹き飛んだようでした。ちなみに、私達広報委員も味見をさせていただきましたが、とても美味しかったです!片付けも、それぞれ役割分担をし、テキパキと行っている様子に感心し、受講生にとってドキドキの初日が終わりました。

☆ 2日目 ☆

〈真面目な受講態度〉

はじける笑顔が印象的

2日目は、多目的ホールという広々とした場所を使い、午前中が講義、午後から身体を使った研修という内容が行われていました。午前中の講義では、幼稚園教諭として、子どもはもちろんのこと保護者や先生方、地域の方々等たくさんの人達との関わりを自ら持つっていく中で必要になる、とても大切な部分について学んでいました。受講生は、皆真剣に講師の話の聞いた、気づいたことをメモする等、立派な受講態度が印象的でした。時折講師から投げかけられる点について、自分なりに回答し発表したり、周囲の人同士で考えたことを話合ったりと、状況に合わせて意欲的に参加していました。午前中びっしり座っての講義を受けた後は、楽しみな風食タイム。そして和気藹々と班ごとに風食を終えたあとに、頑張っている受講生へ札私幼から「シニークリーム」の差し入れが♪丁度良いタイミングでのスイーツのプレゼントに黄色い歓声が上がったのは言うまで

もありませんね。そんなお昼のひと時を過ごした後午後の内容は、身体を使った研修ということで、首からタオルを下げてシャージ姿で集まってきた受講生達。講師の方のハツラツとした元気な掛け声と動きに、受講生達もすぐにノリノリになり、午前中とは対照的なはじける笑顔で楽しく参加する様子に、さすが幼稚園の先生達！と感心したと同時に普段現場で頑張っている先生方の姿が垣間見えたことにほっと安心したのです。



〈時には敵へ、そして優しい

見守りの姿勢

女性運営者ハイテンション

受講生を陰で支える運営側の女性の先生達にも、ちょっとお話を聞かせていただきました。今年の受講生の印象は…? 「全体の雰囲気が良い、参加態度がとても真面目」 「昨晚の消灯時間は、ばっちりでした(笑) まだ緊張している部分もあるのかも…」 「班ごとに、カラーが出てきているかな」とのこと、受講生へのお褒めの言葉がありました。その他に、いろいろお聞きした中で、宿泊研修を支える中で難しいこと…として、これから寝食を共にしそれぞれ心を開きながら関わりを深めていく中で、いろんな事が起こると思うが、その際にできるだけ自分達で解決し前へ進めるように、先生達の中に、入りすぎてもいけないし、任せ過ぎてもいけない、先生方自身で解決できるように見守ること。ということでした。このように、一生懸命頑張っている受講生達を、先生としての先輩として、時には母のように大きな心で支えてくださっている運営者の先生達の想いに触れることができ、そんな中で研修を受けられる受講生達は、幸せだと感じさせられました。(運営者側へ心から感謝です!)

☆ 3日目 ☆

〈班の仲間の気持ちを大切に〉

今年も新採用研修恒例の「班交流」が行われ、会場は若い先生方のパワーと笑顔に溢れ大盛況でした。「班交流」とは、各班5分の持ち時間を与えられ子ども達と一緒に楽しめる出し物を発表し合います。受講生にとって最後の夜のお楽しみですが、班のチームワークが問われる重要なものです。研修初日から班交流係を中心に出し物の内容・役割分担等を決め研修の合間の時間を使って練習をした成果を見せるのです。初日の風食時にはもう内容が決まった班もあれば、意見がまとまらずなかなか決まらなかった班も…。さすがは平成生まれ! YouTubeで検索するなど情報収集しつつ、2日目の夜からはどの班も練習を始められたようでした。さて、準備は話し合いも含めて2日間。はたして短期間で出し物は完成するのか…と思いましたがご



















